



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社  
 コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大隅 毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 星 正俊 TEL 03-5646-7235  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,763	△3.9	1,997	△12.2	2,228	△9.0	1,606	△2.9
2020年3月期第2四半期	34,078	5.5	2,273	23.3	2,447	23.7	1,654	26.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,249百万円 (30.9%) 2020年3月期第2四半期 1,718百万円 (32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	105.67	—
2020年3月期第2四半期	108.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	99,667	46,352	46.2	3,026.48
2020年3月期	98,994	44,512	44.0	2,861.73

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 46,016百万円 2020年3月期 43,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	26.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,700	△0.2	3,700	△5.3	4,000	△4.2	2,700	△4.1	177.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	15,217,747株	2020年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,993株	2020年3月期	12,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	15,204,754株	2020年3月期2Q	15,204,822株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除後、社会経済活動の再開が段階的に進められるなかで、景気は持ち直しの動きがみられました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では個人消費、企業の生産や輸出が持ち直してはいるものの、回復のペースは緩やかなものに留まり、荷動きは低調に推移しました。また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は若干上昇し、賃料相場も僅かながら下落するなど、厳しい状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、日用品、飲料、EC関連商品の流通加工や出荷など、物流事業の維持・拡大に努めるとともに、業務の効率化や費用の削減を進め、業績の確保に努めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上や安定的な収益基盤の維持に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業は引き続き堅調に推移し、物流事業において新設拠点の稼働に加え、流通加工などの高付加価値業務が拡大したことによる倉庫業務の増加や、航空貨物の取扱増加があったものの、消費材を中心とした陸上運送業務や、自動車関連部品などの港湾運送業務が低調に推移したことにより、前年同期比13億1千4百万円(3.9%)減の327億6千3百万円となり、営業利益は、同2億7千6百万円(12.2%)減の19億9千7百万円、経常利益は、同2億1千9百万円(9.0%)減の22億2千8百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したものの、同4千8百万円(2.9%)減の16億6百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① 物流事業

**倉庫業務**は、新設拠点の稼働に加え、高付加価値業務やEC関連業務などが好調に推移したことで、日用品、飲料の保管や荷役の取扱が増加したことにより、営業収益は前年同期比7億円(9.4%)増の81億1千3百万円となりました。

**港湾運送業務**は、船内荷役業務や自動車関連部品の輸出入荷捌業務が減少したことにより、営業収益は前年同期比2億1千8百万円(6.8%)減の29億9千6百万円となりました。

**陸上運送業務**は、日用品、飲料、非鉄製品などの輸配送業務や、引越業務が減少したことと、前期にあつた消費増税前の一時的な荷動き増加が解消したことにより、営業収益は前年同期比18億2千6百万円(10.6%)減の154億2千5百万円となりました。

**国際輸送業務**は、輸出入海上貨物や香港、ベトナムにおける海外現地法人の取扱いは減少したものの、輸出航空貨物の取扱が増加したことにより、営業収益は前年同期比4千万円(1.8%)増の22億9千9百万円となりました。

**その他の物流業務**は、内航海運事業の終了に伴う減少はあつたものの、物流施設賃貸業務が増加したことにより、営業収益は前年同期並みの10億4千5百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比13億4百万円(4.2%)減の298億8千万円となりました。営業費用は、取扱減少に伴う作業費の減少により、前年同期比9億4千4百万円(3.2%)減の285億5千4百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比3億6千万円(21.4%)減の13億2千6百万円となりました。

#### ② 不動産事業

一部施設の不動産付帯収入が減少したものの、ビル管理業務の取扱が増加し、営業収益は前年同期比9百万円(0.3%)増の29億6千8百万円となりました。営業費用は、LED化などに伴う光熱動力費が減少し、前年同期比4百万円(0.3%)減の14億3千万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比1千4百万円(1.0%)増の15億3千8百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形・無形固定資産の減価償却による減少があったものの、投資有価証券の時価評価の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億7千2百万円増加し、996億6千7百万円となりました。

負債については、設備関係支払手形の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億6千7百万円減少し、533億1千4百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ18億4千万円増加し、463億5千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より2.2ポイント増加し、46.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で9億1千9百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、143億4千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により32億1百万円の増加（前年同四半期比8億7千2百万円の増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出および無形固定資産の取得による支出等があったため、22億7千3百万円の減少（前年同四半期比3億3千5百万円の増加）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があったものの、長期借入金の約定返済や配当金の支払いにより、5百万円の減少（前年同四半期比27億5千1百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、2020年8月7日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,002	13,466
受取手形及び取引先未収金	12,187	12,165
有価証券	3,500	3,000
その他	2,280	2,076
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	29,961	30,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,902	32,065
土地	17,858	17,858
その他(純額)	1,883	1,967
有形固定資産合計	52,645	51,891
無形固定資産	1,679	1,486
投資その他の資産		
投資有価証券	12,553	13,452
その他	2,143	2,124
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	14,655	15,536
固定資産合計	68,980	68,914
繰延資産	52	46
資産合計	98,994	99,667

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,148	4,795
短期借入金	5,634	10,827
未払法人税等	855	779
引当金	670	609
その他	3,875	2,571
流動負債合計	16,184	19,582
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,717	15,932
長期預り金	4,708	4,682
退職給付に係る負債	2,474	2,435
その他	397	681
固定負債合計	38,297	33,731
負債合計	54,482	53,314
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,700	6,357
利益剰余金	27,753	28,977
自己株式	△23	△23
株主資本合計	41,277	43,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,747	3,433
為替換算調整勘定	△450	△536
退職給付に係る調整累計額	△62	△37
その他の包括利益累計額合計	2,234	2,859
非支配株主持分	1,000	335
純資産合計	44,512	46,352
負債純資産合計	98,994	99,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	4,134	4,577
倉庫荷役料	3,278	3,535
荷捌料	5,649	5,362
陸上運送料	17,246	15,418
物流施設賃貸料	740	843
不動産賃貸料	2,899	2,890
その他	128	134
営業収益合計	34,078	32,763
営業原価		
作業費	21,291	20,196
賃借料	1,841	1,831
人件費	1,767	1,825
減価償却費	1,324	1,484
その他	3,827	3,777
営業原価合計	30,053	29,115
営業総利益	4,024	3,647
販売費及び一般管理費	1,750	1,650
営業利益	2,273	1,997
営業外収益		
受取利息	26	28
受取配当金	234	234
持分法による投資利益	18	10
その他	73	67
営業外収益合計	353	340
営業外費用		
支払利息	84	67
その他	94	42
営業外費用合計	179	109
経常利益	2,447	2,228
特別利益		
投資有価証券売却益	—	170
特別利益合計	—	170
税金等調整前四半期純利益	2,447	2,398
法人税等	762	760
四半期純利益	1,685	1,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,654	1,606

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,685	1,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	668
為替換算調整勘定	△60	△71
退職給付に係る調整額	23	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△12
その他の包括利益合計	33	610
四半期包括利益	1,718	2,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700	2,231
非支配株主に係る四半期包括利益	17	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,447	2,398
減価償却費	1,446	1,573
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	△38
受取利息及び受取配当金	△261	△262
支払利息	84	67
持分法による投資損益(△は益)	△18	△10
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△166
固定資産売却損益(△は益)	△6	1
固定資産除却損	30	3
売上債権の増減額(△は増加)	△813	20
仕入債務の増減額(△は減少)	△291	△352
その他	109	605
小計	2,741	3,832
利息及び配当金の受取額	260	273
利息の支払額	△85	△68
法人税等の支払額	△588	△835
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,328	3,201
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,533	△2,085
定期預金の払戻による収入	1,508	2,017
有形固定資産の取得による支出	△2,502	△2,286
有形固定資産の売却による収入	23	11
無形固定資産の取得による支出	△104	△81
投資有価証券の取得による支出	△14	△8
投資有価証券の売却及び償還による収入	15	212
関係会社出資金の払込による支出	—	△52
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,609	△2,273
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	△137
長期借入れによる収入	100	2,700
長期借入金の返済による支出	△2,379	△2,154
配当金の支払額	△349	△379
非支配株主への配当金の支払額	△32	△15
リース債務の返済による支出	△17	△18
その他	△26	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,757	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,044	919
現金及び現金同等物の期首残高	13,826	13,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,782	14,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による営業収益等への影響は、現時点においても収束時期が不透明な状況であることから、通期にわたることを前提としておりますが、会計上の見積りに重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	31,178	2,899	34,078	—	34,078
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	58	65	△65	—
計	31,185	2,958	34,143	△65	34,078
セグメント利益	1,686	1,523	3,210	△936	2,273

(注1) セグメント利益の調整額△936百万円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	29,872	2,890	32,763	—	32,763
セグメント間の内部営業収益又は振替高	8	77	85	△85	—
計	29,880	2,968	32,849	△85	32,763
セグメント利益	1,326	1,538	2,864	△867	1,997

(注1) セグメント利益の調整額△867百万円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。